

私の留学体験記

広島県立安古市高等学校 1年 寺坂 郁彦 (てらさか ふみひこ)

留学期間 平成30年7月26日～平成30年8月11日 (17日間)

留学先 セントジョーンズグラマースクール (アデレード, オーストラリア)

私が今回の留学で最も印象に残った出来事は、オーストラリアでの学校生活です。

オーストラリアの学校では、2時間目と3時間目の間に大きな休憩時間があります。私のホストファミリーのベンは、その時間になると、私を彼の友達のところまで連れて行ってくれました。ゆっくりとした英語しか話せなくても、みんな私の話を理解しようとしてくれて、とても楽しい時間を過ごすことができました。

また、ボウリングに行った時には、オーストラリアに半年留学している日本人の方と偶然出会うことができ、とても嬉しかったと同時に、年が1才しか変わらないのに、英語をとてとても上手に話せていたので、今よりもっと英語を一生懸命勉強することの重要性に気づかされました。

オーストラリアの文化と日本の文化の違いを一番感じたのは、食事です。日本では、食事の前後で「いただきます」と「ごちそうさま」を当たり前にしますが、オーストラリアにはその文化はなく、それに似た動作もなく、全員が無言で食べ始めていました。とても驚かされましたが、もっと驚いたのは、残飯がとて多いことです。日本人は食べ物を残すことは、料理を作ってくれた人に失礼であるという考え方をしますが、オーストラリアの人たちの考え方は、日本人とは異なり、無理して食べると体調を崩すことにつながり、その結果自分が苦しむのであれば、意味がないということを話していました。また、その考え方は食事だけでなく、生活の様々な場面に出てきては、その都度、日本との違いを感じました。例えば朝(その日はとても暖かい日でした)、シャツのボタンを上まで留めていると、ホストマザーが、「どう見られるかは重要なことだけど、自分が楽でいることは、もっと重要なこと」と言ってくれた時、日本人の考え方とオーストラリア人の考え方の違いに触れた気がしました。

文化の違いなど、異なる点はたくさん体験しましたが、同時にお互いの共通点についても知ることができました。それは音楽やゲームや映画などです。放課後、図書室で車が迎えに来るのを待っていると、ベンとの会話の中でお互いに共通の曲を知っていることがわかり、より一層仲が深まった気がしました。ベンの家でゲームをすることがありましたが、ベンの友人を含め、違和感なく遊ぶことができました。

最後に、今回の短期留学では、日本とは異なるオーストラリアの文化を多く体験するだけでなく、日本の文化もたくさん伝えることができ、非常に意義のある時間を過ごすことができました。学んだことを今後に活かし、より多くの人にオーストラリアの文化を知ってもらうために、自分たちで発信していきたいです。